

Exhibition Schedule

2026.4 -
2027.3

静岡県立美術館 Shizuoka Prefectural Museum of Art

開館時間

・10:00-17:30 | 展示室への入室は17:00まで

休館日

- ・毎週月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌日休館）
- ・年末年始、展示替・館内整備等のための休館（詳細はカレンダーをご覧ください。）

観覧料

	一般	70歳以上	大学生以下
個人			
団体			
収蔵品展・ロタン館	500円	400円	無料
企画展	観覧会ごとに異なります。 詳しくはウェブサイト、ポスター、チラシをご覧ください。		

- ・企画展のチケットで、収蔵品展とロタン館もご覧いただけます。
- ・団体は有料観覧者20名以上にて、事前にご予約下さい。
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費（指定難病）受給者証又は指定難病登録者証の交付を受けている方とその付添者1名は、企画展・収蔵品展とも無料でご覧いただけます。
- ・事前予約制を実施する場合には、ウェブサイト等でお知らせします。

お問い合わせ

〒422-8002
静岡市駿河区谷田53-2
—
https://spmoa.
shizuoka.shizuoka.jp



企画総務課

tel 054-263-5755
fax 054-263-5767

学芸課

tel 054-263-5857
fax 054-263-5742

わたしたちは、
県立美術館開館40周年を
応援しています

コアサポーター

株式会社アイエイアイ
株式会社アイワホールディングス
静岡鉄道株式会社
はごろもフーズ株式会社
株式会社村上開明堂

サポーター

鈴与株式会社

交通案内

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から
静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- ・JR「静岡駅」南口から
タクシーで約20分、
または北口から静鉄バスで約30分
- ・JR「東静岡駅」南口から
タクシーで約15分、
または静鉄バスで約20分
- ・静鉄「県立美術館前駅」から
徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- ・東名高速道路・静岡IC、清水ICから
車で約25分、
日本平久能山スマートICから
車で約15分、
新東名高速道路・新静岡ICから
車で約25分

イベント

実技室での
ワークショップなど、
各種イベントはこちら



デジタルアーカイブ

コレクション
約2900点を
検索できます。



ミュージアムショップ

展覧会図録、美術図書、
オリジナルグッズ等を
お求めになれます。
tel 054-262-1960

レストラン

時期により
営業時間が異なるため
事前にご確認ください。
tel 054-267-7888

友の会

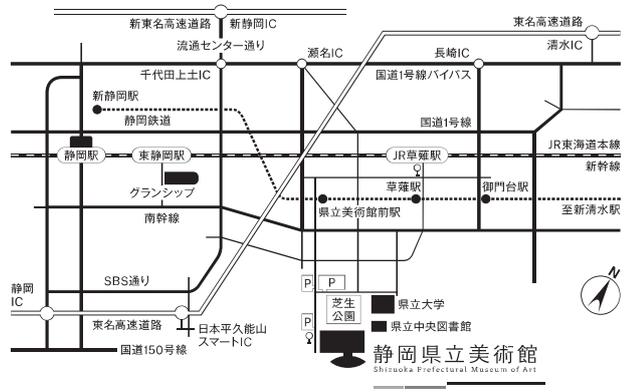
収蔵品展の観覧が
無料になるほか、
企画展の招待券等の進呈も。
常時入会受付中。
tel 054-264-0897

ロタン館

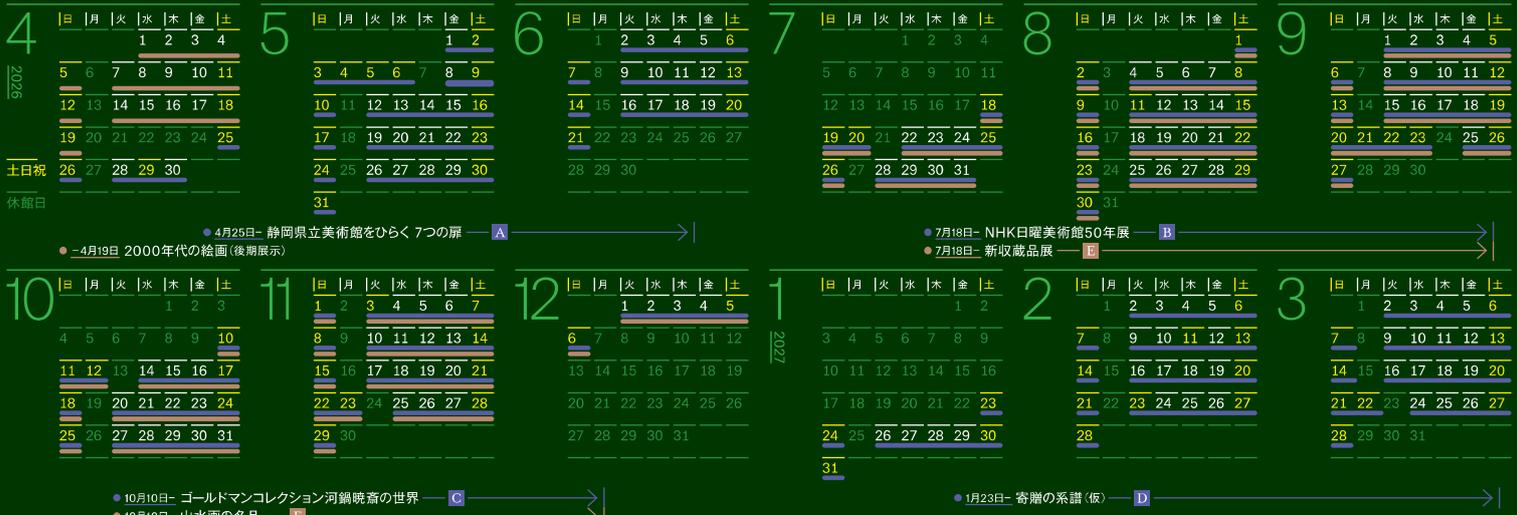
《考える人》や《地獄の門》を
常設展示しています。



オーギュスト・ロダン
《カレーの市民 第一試作》
静岡県立美術館



表紙
エレナ・トゥタッチコワ
《たねの季節：クレマチス#1（クレマチスガーデン、2022年3月）》
静岡県立美術館



今年は開館40周年!

企画展

企画展AとDでは1-7室すべての展示室を使用します。両会期中は、収蔵品展の観覧料で7室とロタン館を、ご覧いただけます。

開館40周年記念展
静岡県立美術館をひらく
7つの扉

A
2026年4月25日[土]-6月21日[日]

今年、開館40年となる当館は、2900点を越えるコレクションを築くとともに、多彩な展覧会を重ねてきました。この展覧会では、狩野探幽、伊藤若冲、ゴッガン、川村清雄、横山大観、草間彌生など、コレクションから厳選した作品を手がかりに、美術の世界の広がりを探求する旅にみなさんをお連れします。

NHK日曜美術館
50年展

B
2026年7月18日[土]-9月27日[日]

美術番組の草分け的な存在であるNHKの「日曜美術館」は、今年で50周年を迎えます。本展では、番組に登場した作品・作家の中から厳選した名品や関連作を、懐かしい番組出演者が作品・作家への強い思いを込めて語る様子や、作家のアトリエでの制作風景などの貴重な映像を交えながら紹介します。

ゴールドマンコレクション
河鍋暁斎の世界

C
2026年10月10日[土]-12月6日[日]

幕末から明治にかけて活躍し、いまなお国内外で高い人気を誇る絵師・河鍋暁斎。神仏画から戯画、動物画、妖怪画まで、手掛けた作品はいずれも卓越した画技と機知に溢れています。本展では、世界屈指の暁斎コレクションから厳選された、国内初公開作品を含む名品の数々をご紹介します。

開館40周年記念展
寄贈の系譜(仮)

D
2027年1月23日[土]-3月28日[日]

開館40周年を記念し、またこれまでのご寄贈に対して感謝の意を込めて、寄贈によって収蔵した作品を通して当館の収集活動をふり返ります。特に、現在高く評価される石田徹也作品や、未だ全てを紹介できていない太田正樹コレクションのまとまった展示をはじめとして、様々な時代や地域の作品を展示します。

収蔵品展

新収蔵品展

E
2026年7月18日[土]-9月27日[日]

2025年度は42点の作品がコレクションに加われました。西洋美術9点、日本洋画7点、現代美術23点をご寄贈いただき、現代美術2点を購入、日本洋画1点を管理換で収蔵しました。これら新収蔵品をご確認ください。

山水画の名品

F
2026年10月10日[土]-12月6日[日]

山水画とは中国から日本に伝わった伝統的な絵画ジャンルの一つで、実際の風景に依拠せず、画家の胸中にある理想的な山水風景が描かれます。狩野探幽・池大雅・谷文晁ら名だたる画家たちはどんな風景を創造したのでしょうか。

移動美術展

浜松市鳴江アートセンター
静岡県の各地域の皆様に、当館の活動や収蔵品をご紹介します展覧会です。今年度は、浜松市鳴江アートセンターと共催します。
2026年11月6日[金]-11月16日[月] | 会期外にも関連プログラムを予定。

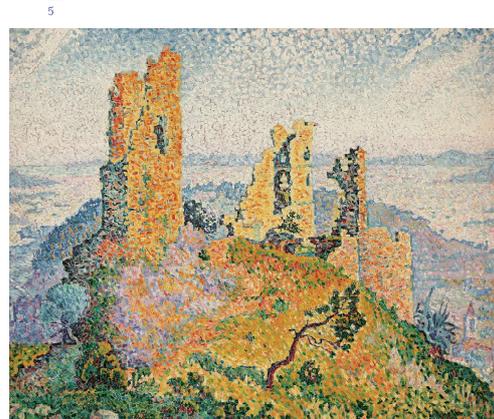


A 1 伊藤若冲
《樹花鳥獸図屏風》
(右隻)
静岡県立美術館



A 2 草間彌生
《最後の晩餐》
静岡県立美術館
©YAYOI KUSAMA

B 3 ルネ・マグリット
《レディ・メイドの花束》
大阪中之島美術館



C 4 河鍋暁斎
《地獄大夫と一休》
《めばえ》
イスラエル・
ゴールドマン・
コレクション

D 5 石田徹也
《めばえ》
静岡県立美術館

D 6 ポール・シニャック
《サン・トロベ、
グリモーの古城》
静岡県立美術館

D 7 フランク・ブラングイン
《アルカンタラの橋》
静岡県立美術館

D 8 黒田清輝
《湘南風景》
静岡県立美術館

D 9 谷文晁
《連山春色図》
静岡県立美術館

